

妙心寺山内退蔵院



大本山妙心寺の塔頭として600年の時を経て人々に愛され続ける退蔵院は年間を通して美しい花々に彩られた華やかさと禅寺の落ち着いたたたずまいをあわせもつ寺院です。国宝である如拙の傑作「瓢鮎図」、狩野元信作庭の枯山水庭園、昭和の名庭「余香苑」など、由緒ある宝物たちが独自の個性で訪れる人々の心を魅了しています。



みどころ

「余香苑」 昭和の小堀遠州といわれる造園家中根金作氏の設計によるもので、京都はもとより全国でも有数の昭和の名園と言えます。随所に工夫が施され奥行きのある庭園として見えるよう構成されています。四季折々の花々が彩り、いつの季節に訪れても美しい顔を見せます。



「元信の庭」 室町時代の画聖狩野元信による枯山水庭園。絵画的な手法で作庭され、優美豊艶の趣を失わず、独特の風格を備えています。庭の背景には、やぶ椿、松、檜、もっこく、かなめもち等、常緑樹を主に植え、一年中変わらない美しさ「不変の美」を求めた物と考えられます。



「瓢鮎図」 国宝に指定されている禅画で室町時代の作品。山水画の始祖といわれている如拙が、足利義持の命により心血注いで描いたもので彼の作品の中で最高傑作といわれています。



妙心寺 退蔵院

京都市右京区花園妙心寺町35

電話 075-463-2855

<http://www.taizoin.com/>

拝観時間: 午前9時～午後5時

嵐電北野線

妙心寺駅下車10分

JR嵯峨野線

花園駅下車6分

